

議会だより

委員会報告	2～5P
一般質問	6～13P
議案の審議結果	14P
議員発議など	15P
次回定例会日程など	16P



キャリアフェスティバルいといがわ2021 (10月8日)

第4回定例会を開催 ～8月30日から9月22日まで～

本定例会では、決算認定、条例関係、補正予算などの議案27件、陳情1件及び議員発議5件を審議しました。本定例会における審議結果は、14ページをご覧ください。また、16人の議員が一般質問を行いました。

●..... 議会の動き

7月

- 16日 石川県加賀市議会視察来市
- 21日 コンプライアンス調査推進特別委員会

8月

- 11日 建設産業常任委員会
- 19日 総務文教常任委員会
- 23日 議会運営委員会
- 30日 議会運営委員会
本会議 (初日)

9月

- 2日 議会運営委員会
- 3日 本会議 (一般質問) (6日、7日、8日)
- 8日 コンプライアンス調査推進特別委員会
- 9日 建設産業常任委員会
- 10日 市民厚生常任委員会
- 13日 総務文教常任委員会
- 14日 決算審査特別委員会 (15日、16日)
- 21日 議会運営委員会
- 22日 本会議 (最終日)

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された議案等の案件について、3つの常任委員会で審査をしました。

各常任委員会の審査件数や所管事項調査の項目、主な質疑の内容（本定例会最終日の委員長報告より抜粋）は次のとおりです。

総務文教常任委員会

条例の制定2件、補正予算2件、陳情1件、その他の議案2件を審査しました。

○糸魚川市過疎地域持続的発展計画の策定について 質疑

人口減少のペースは計画当初よりも5年早く進んでいる。その分の計画の見直しをしなくてはならない。見直しをすると同時に、それに対応する目玉の施策が必要。具体策とその対応策はどこに記載されているか。

答弁

具体的な記載はないが、この計画の総論部分、政策の共通項目に記載している。人口が減少しているということは、公共施設の管理が非常に大事になる。公共施設等の総合管理との整合も意識して、事業の方向性が各施策の分野ごとに必須で入るということが、前回までの計画とは違う点である。

○糸魚川市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

質疑

市の調査や議会の委員会も動いており、今後どのような展開になるのか分からない中で市長の給与を減額するという処分を行うと、これで全部終わりであるというイメージを与えかねないので、明確にしてほしい。

答弁

今回の官製談合事件の判決が出たことなどから、減給を行いたいものであるが、今後、万一違う事件があれば、その時点で判断する。

市民厚生常任委員会

補正予算3件、その他の議案1件を審査しました。また、「新型コロナウイルス感染症対策について」「地域医療構想における重点支援区域の申請について」の所管事項調査を行いました。

○個人番号カード普及促進事業について（一般会計補正予算）

質疑

新型コロナウイルス感染拡大が進んでいるときに、市内温泉施設の利用料金割引券とマイナンバーカードの普及を結びつけて事業を行うことはいかがなものか。

答弁

ワクチン接種も進んでおり、事業開始予定の11月までには一定の期間がある。万一市内で感染者が多数確認されるようであれば、温泉施設事

建設産業常任委員会

条例の制定1件、補正予算2件、その他の議案1件を審査しました。また、「観光の振興について」「糸魚川産業創造プラットフォームについて」「サテライトオフィス整備事業について」「えちごトキめき鉄道の運営について」「大糸線の利用促進について」「水道加入金の改定について」「下水道使用料の改定について」の所管事項調査を行いました。

○事業継続給付金（新型コロナ対応）及び新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金について（一般会計補正予算）

質疑

去年オープンした店舗は交付の対象とはならないのか。

答弁

長期間売上げの減少が続いている方を対象とし、創業期間が間もない方は対象としない方向で現在考えているが、2019年と2020年の比較ができない場合の対応を調整中である。

○所管事項調査「観光の振興について」

質疑

今年の夏の傾向としてキャンプ場の需要が多く、更なる誘客が見込めるが市の考えは。

答弁

キャンプ場が非常に注目を浴びているが、設備の整ったところが好評なことから、市としてもある程度の整備をしていく必要があると考えている。

業者と事業の継続あるいは中止について検討したい。また、コロナ禍で激減している入湯税収入を上げたいという目的もある。

○契約の締結について（旧ごみ処理施設解体工事）

質疑

予定価格8億7,131万円に対し、落札額4億6,640万円、落札率53.5%で落札されたことで、実際に仕事をする協力会社への負担やしわ寄せが及ばないのか。

答弁

低入札価格調査において、落札者からは諸経費等も含め十分配慮し、責任ある体制で臨みたいと回答を受けているので、それを確認しながら進めていきたい。

閉会中の所管事項調査

常任委員会が定例会の会期以外に行う調査です。主な質疑の内容（本定例会初日の委員長報告より抜粋）は次のとおりです。

総務文教常任委員会

8月19日に「高校の魅力づくりについて」の所管事項調査を行いました。

○高校の魅力づくりについて

質疑

高校の魅力づくりは、県や校長の方針もあると思うが、しっかり話し合った上で、生徒本位の成果を上げて、進路の拡大を図り、魅力を発揮してもらいたい。そういった意味ではコーディネーターに期待している。魅力が減退するようなことがないように進めてもらいたいかがか。

答弁

誰にとっての魅力化といえ、生徒である。コーディネーターの配置により、生徒にとっての魅力が増すことで、生徒が変わり、保護者や学校の先生、地域も変わっていくと考えている。魅力化による変化が全て整えば、人口減少対策になると思っているので、しっかり進めていきたい。

建設産業常任委員会

8月11日に「林業の振興について」「水道料金改定について」の所管事項調査を行いました。

○水道料金改定について

質疑

今後のスケジュールにおいて住民説明会が重要と考えるが、糸魚川、能生、青海といった地域別で、何か所行うのか。

答弁

各地域を回らせていただくが、具体的な日程、場所などは地域の代表に相談し、それぞれの地域の実情に合わせて対応する。



議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

以下の内容について協議しました。

8月23日

- ◎第4回市議会定例会の会期及び日程について
- ◎請願・陳情の付託について
- ◎委員長報告について
- ◎決算審査の進め方について
- ◎令和2年度議会費の決算について
- ◎議会運営について

8月30日

- ◎人事案件について
- ◎一般質問の人数の割振り変更について

9月2日

- ◎追加議案について
- ◎議会運営について
- ◎議員派遣について

9月21日

- ◎追加議案について
- ◎委員長報告について
- ◎議員発議について
- ◎閉会中の継続調査の申出について
- ◎12月定例会の会期及び日程（予定）について
- ◎議会運営について

委員会協議会

建設産業常任委員会

7月20日

森林管理の現状と課題などについて現地視察をし、糸魚川木材連合会の皆様と懇談を行いました。



ぬながわ森林組合を視察

9月30日

小滝地区の観光資源や木地屋資料の活用と今後について現地視察をし、懇談を行いました。



木地屋の里を視察



糸魚川木材連合会との懇談



白馬山麓国民休養地運営協議会との懇談

市民厚生常任委員会

7月14日

新潟県地域医療構想の実現に向けた今後の方向性について、新潟県福祉保健部から説明を受けました。



新潟県福祉保健部による説明

特別委員会

市の重要課題について、専門的に調査研究を行うため、必要に応じて設置される委員会です。

コンプライアンス調査推進特別委員会

7月21日

- ◎不正入札の防止等について
- ◎公務員と選挙の関わり方について（特別職、議員を含む）
- ◎不正防止に向けた取組について

9月8日

- ◎市外調査の集約について
- ◎不正入札の防止等について
- ◎公務員と選挙の関わり方について（特別職、議員を含む）

中間報告

本定例会最終日にコンプライアンス調査推進特別委員会の中間報告が行われました。概要は次のとおりです。

コンプライアンス調査推進特別委員会（中間報告概要）

当委員会は令和3年7月1日に設置され、付議事件は、不正入札の防止等について、公務員と選挙の関わり方について（特別職、議員を含む）、不正防止に向けた取組についての3項目で、これまで2回の委員会と1回の市外調査を行った。

不正入札の防止等については、市職員の犯行動機などを確認するため、8月18日に正副委員長が官製談合事件等の初公判（新潟地方裁判所）を傍聴した。傍聴した内容について、9月8日の委員会で集約を行った。

公務員と選挙の関わり方について（特別職、議員を含む）では、7月21日の委員会で藤田前副市長より辞任を決めたことが報告された。理事者の地位利用という疑いについて結論は出ていないが、前副市長の辞任を受けて、9月8日の委員会で辞任までの経過の調査を行い事実関係を確認した。

決算審査特別委員会



保坂 悟
委員長



利根川 正
副委員長



決算審査特別委員会の様子

これまでは、各常任委員会に分割付託し決算審査を行ってきましたが、本定例会初日に決算審査特別委員会（議長と議会選出の監査委員を除く16人の議員で構成）を設置し審査を行いました。令和2年度の一般会計、特別会計7件及び企業会計4件の決算について、全て原案どおり認定及び可決しました。審査における主な内容（本定例会最終日の委員長報告から抜粋）については次のとおりです。

○権現荘(財政補填を受ける指定管理者)等のリスク分担について

年度全体の赤字(不可抗力によるもの)に対して一定の割合で補填分を算出する方法は、市議会の決算においてなじまなかったことが分かった。決算において不可抗力による赤字分については、費目別に積算した形で説明する必要がある。

○新型コロナウイルス感染症対策（災害等）について

感染経路や感染者情報の提供の在り方については、飲食店、宿泊施設、旅行業社への影響が大きいため、県の管轄とはいえ、市内の経済対策として新たなルール作りが急務である。また、宿泊施設における市の経済支援の在り方については、感染症を災害と捉えた場合、公営と民営において公平に対応し、特に差がないような住み分け等を検討する必要がある。

※二次元バーコードをスマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継を視聴できます。



宮島 宏
議員



問 クラシックカーイベントへの支援と地域振興について

質問

- (1) 市長は、市民の交通安全意識の高揚や地域活性化に多大な貢献をしているこのイベントに対して、必要と認められれば、更なる支援をする考えを持っているか。
- (2) 市長は、クラシックカーレビューによる経済効果に満足しているか。より高い経済効果をもたらすようなものにするための具体的なアイデアを持っているか。
- (3) フォッサマグナミュージアムでは、クラシックカーレビューに合わせてオリジナルピンズを製作してきた。中には人気があって既に完売して入手困難なものもあると聞いている。完売したピンズを復刻することはできないか。

市長答弁

- (1) 実施主体の意向を踏まえる中で、状況に応じて支援を行っていく。
- (2) 市内への人の流動を増やすほか、宿泊とセットにした旅行商品を販売することも効果的であると考えている。
- (3) ピンズは開催記念の限定品としており、再販売は考えていない。

問 地域の自然を活かした人材育成と地域振興 特に山について

質問

- (1) 子どもたちが地元の山に登ることについての意義や教育的効果は、多岐にわたると思う。具体的にどのようなものがあると認識しているか。
- (2) ジオパークによる人材育成の一環として、糸魚川の子どもたちが今以上に地元の山に登り、親しみ、学ぶ機会を増やす必要があると考えるがいかがか。

市長答弁

- (1) 体験を通して自然と触れ合うことと、自分の力で山頂を目指し、達成感を味わうことが挙げられることから、今後も活用していきたいと考えている。
- (2) 人材育成や郷土愛の醸成につながると捉えており、今後も各種講座の開催など、学びの機会を作りたいと考えている。

その他の質問項目

○公用車の交通事故の防止対策としての昼間点灯の導入について

加藤康太郎
議員



問 新型コロナウイルス感染症に関する糸魚川市対処方針について

質問

新型コロナウイルス感染症に関する糸魚川市対処方針は、国及び県の対処方針に基づき新型コロナウイルス感染症対策に総力を挙げて取り組むこととし、令和2年4月15日（令和2年4月20日改正）に定めたものである。

策定から1年以上が経過し、国の「基本的対処方針」の変更や新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく協力要請、経済対策等の動向並びに本市における新型コロナウイルス感染症の発生、まん延状況等を踏まえ、適宜見直していくことが必要と考えるが、糸魚川市新型コロナウイルス感染症対策本部での見直し、検討状況を伺う。

市長答弁

現在、当初の基本的対策を継続する内容としており、必要に応じ、感染拡大の状況に合わせて見直していく。

問 糸魚川市新型インフルエンザ業務継続計画について

質問

新型コロナウイルス感染症に関する糸魚川市対処方針（5）その他②において、「職員における感染を防ぐよう万全を尽くすとともに、万が一、職員に感染者又は濃厚接触者が確認された場合も、職務が滞滞なく行えるよう『糸魚川市新型インフルエンザ業務継続計画』に基づき対策を講じる。」とある。

インフルエンザとは異なる対応が求められる新型コロナウイルス感染症における最新の知見や対策に基づく、「業務継続計画」における各課の対応、業務の継続方針並びに「中断及び中止する事務事業」及び「使用中止施設」の再開基準等の検討が必須と考える。

変異株のデルタ株への置き換わりが進み、急速に感染が拡大している中、既存の計画で、迅速、的確な対応が可能かどうか、見解を伺う。

市長答弁

既存の計画を基本に対応していくが、テレワークや分散勤務など、新たな方法で対応可能な業務等も計画に取り入れ、見直していく。

その他の質問項目

○第3次行政改革大綱の取組状況と第4次行政改革大綱の策定について



伊藤 麗
議員



問 空き家の活用について

質問

- (1) 市内で増え続ける空き家の問題を市民に対し、どのような働きかけ、対策の周知などを行っているか。
- (2) 所有する空き家を住居や民泊、賃貸などとして活用しようとしたときに、UIターンの方向けの施策以外で市民が活用できる支援策はあるか。
- (3) 空き家所有者にとって活用するだけでなく、解体し、更地にするという選択肢も当然あると思う。危険空き家除却支援補助金の申請・利用件数は、どの程度あるか。

市長答弁

- (1) 終活セミナーの開催のほか、死亡届の提出や施設入所の相談などで親族が来庁した際にパンフレットを配布し、空き家問題について考えていただいている。また、市税の納税通知書にも、空き家の適正管理についてを記載し、お願いしている。
- (2) 創業など事業として空き家を活用する場合は支援している。
- (3) 平成29年度は3件、平成30年度から令和2年度はそれぞれ4件となっている。

問 廃校の活用について

質問

- (1) 廃校の利活用について、市としての方針や考えはあるか。
- (2) 廃校になった校舎を、単発のイベント、常設の事務所などとして使いたいという場合の相談先はどこか。
- (3) 常設での利用となった場合、利用料など明確な取決めはしているか。
- (4) 市内の障害者福祉に取り組もうとする団体・事業者が、放課後デイサービスなどを運営する際に利用できるようにしてはいかかがか。

市長答弁

- (1) 統合により空き校舎となった場合には、地元関係者と協議しながら、庁内関係課において活用方法を検討している。
- (2) 財政課が担当している。
- (3) 貸付料の取扱いを定めている。
- (4) 運営の意向がある団体等の話を聴き、検討していく。

その他の質問項目

- 子育て支援について

保坂 悟
議員



問 糸魚川市の課題解決について

質問

- (1) 官製談合について
 - ① 犯行動機が新駅開業日に間に合わせるため、入札の不調を避けるためとあるが、工期の設定（スケジュール）に何か問題があったのか。
 - ② 新駅トイレ工事以外の余罪について、市はどのように扱うのか。
- (2) 歴代副市長の任期途中の辞任について

歴代副市長が任期途中で辞めていること自体を、市長はどのように受け止めているのか。
- (3) 市内の企業間談合について

元営業部長の供述によると、15年ほど前の前任者からの引継ぎ時から談合があり、逮捕されるまで継続されていたとのことである。この期間の不正入札により、市民の税金が予定価格に近い高止まりした金額で落札されたと考えた場合、市は警察に被害届を出すことになるのか。
- (4) 旧姫川病院の廃虚について
 - ① 6月1日の火災発生の原因は分かったか。今後の対策はどうするのか。
 - ② 廃虚の解決方法について、懸賞金を出して全国からアイデアを募集する大会を開催する考えはあるか。
 - ③ 廃虚マニアツアー等で、廃虚を生かす研究を行う考えはあるか。

市長答弁

- (1) ① 工期の設定には問題がなかったものと考えている。
 - ② 新駅トイレ工事以外では、立件されていないが、市として可能な範囲で調査していく。
- (2) 任期途中で辞職されたことは、私自身も重く受け止めており、非常に残念である。
- (3) 今回の事件において捜査がなされ、立件に至らなかったものと考えているが、届出等は可否も含め、検討している。
- (4) ① 原因は特定できなかった。今後も警察と情報共有しながら、防犯パトロール等に取り組んでいく。
 - ②③ 活用の考えはない。

その他の質問項目

- 子育て支援について
- 新型コロナウイルス（デルタ株）感染症対策について
- 気になる子どもたちへの支援について
- 高校の魅力づくりについて
- 気になる事業の取組について



和泉 克彦
議員



問 新型コロナウイルス感染症の
ワクチン接種について

質問

- (1) ワクチン接種会場への臨時バスの運行について伺う。
 - ①能生地域と青海地域への臨時バスの利用状況（結果）について
 - ②今後、3回目の接種を行うことになった場合の、高齢者の方へのバスの運行計画について
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について伺う。
 - ①政府は、感染拡大防止対策として、ワクチン接種を主として進めているが、様々な事情で、接種ができない方々への配慮について
 - ②教育現場における感染症対応とワクチン接種の有無などによるいじめに係る諸問題について

市長答弁

- (1) ①能生地域で1人、青海地域で3人の利用があった。
 - ②今回の利用状況を踏まえ、再検討したいと考えている。
- (2) ①接種できない方からは、より一層感染予防に努めていただくとともに、偏見や差別を受けることがないように啓発に努めている。
 - ②感染者が発生した場合は、休校措置を行うとともに、保護者に対する速やかな情報提供を行い、児童生徒の健康状態を注視するよう指導している。また、感染者の人権上の配慮にも努めるよう指導しており、今後も接種の有無によるいじめが発生しないように指導を徹底していく。

問 運転免許証の自主返納と高齢者の
交通機関（手段）について

質問

- (1) 運転免許証の自主返納の支援事業の内容とその利用状況について伺う。
- (2) 高齢者の交通手段としての路線バス、コミュニティバスの在り方について伺う。

市長答弁

- (1) 高齢者の加害事故防止のため、申請による運転免許取消通知書の交付を受けた75歳以上の方に、2万円相当分のタクシー券、バスカード、シニアカー購入費を支援するものである。令和2年度の交付件数は、182件であり、令和元年度の交付額に対するタクシー券の利用状況は、72.9%である。
- (2) 通院や買物など生活に必要な交通手段であり、利用しやすいダイヤやルート設定に努めていく。

近藤 新二
議員



問 人口減少対策について

質問

- 人口減少が及ぼす市の財政問題や地域経済は、市民にとって近い将来に大きな問題となってくる。昨年と今年ではコロナ禍の中で事業もままならない状況だが、減退することなくスピード感を持って確実に進めるために、今までの事業の課題解決や見直しが必要と考えるが、以下の項目について伺う。
- (1) 移住定住の促進に関する主要事業別の推移について伺う。
 - (2) 結婚を希望する男女への婚活支援について伺う。

市長答弁

- (1) 修学資金返済支援事業では令和元年度は42件、令和2年度は50件の利用があり、賃貸住宅家賃補助事業では令和元年度は29件、令和2年度は34件の利用となっている。
- (2) 民間団体が主催する婚活イベントへの支援や県の婚活マッチング事業への入会支援を始め、若者の多様なライフスタイルに合わせた出会いの場の創出や縁結び相談会などを実施している。

問 防犯・交通安全対策の充実について

質問

- (1) 児童が安全に登下校する通学路の安全施設等の点検状況について伺う。
- (2) 市内幼稚園・保育園や小中学校の防犯カメラの設置状況について伺う。
- (3) 市所有車へのドライブレコーダー設置状況について伺う。

市長答弁

- (1) 毎年、各学校において実施している点検に加え、地元地区やPTA、更には防犯パトロール員からも実施していただいております。点検結果について情報の共有を図っている。
- (2) 昨年度までに市内全ての幼稚園、保育園及び小中学校で防犯カメラを設置している。
- (3) 令和元年度に全ての市所有の一般車両へドライブレコーダーを設置している。

その他の質問項目

○糸魚川産木材について



利根川 正
議員



問 地域農業のみらいについて

質問

- (1) 就農希望者が必ず就農を実現できるよう、研修から就農自立までの一貫した支援体制の構築が必要と思うが、市の考えを伺う。
- (2) 休耕田を利用して園芸、花の活用、農業機械の共同化など、地域全体で稼ぐ仕組みづくりをプロジェクトとして進めてはどうかと思うが、市の考えを伺う。
- (3) 集落営農組織及び大規模農家の法人化を進めてもらうと同時に地域の農地を中間管理機構でまとめてもらい、それを活用して、法人に貸し出すことを進められないか伺う。

市長答弁

- (1) 経営が安定するまでの間、国が支援する制度があるほか、市においても、関係機関と共に個々の課題への支援を行っている。
- (2) 既に園芸等に取り組んでいる地区もあることから、これらの取組を検証し、周知していく。
- (3) 地域の話合いに基づく農地の利用調整が重要であり、関係機関と連携して支援していく。

問 森林管理と木材加工の現状について

質問

- (1) 地元材を優先利用していく方策等があれば伺う。
- (2) 市内の小規模製材工場は、近年まで地元木材価格の下落により厳しい現状で、生産、売上アップを前提とした補助制度の活用は難しい状況であるが、これら製材工場に対する支援等の考えがあるか伺う。
- (3) 山林所有者の申出により、森林環境譲与税を活用した伐採が進められないか伺う。

市長答弁

- (1) 木造住宅等への助成、木製品の商品開発への支援など、地場産材の利用促進を図っている。
- (2) 地場産材の需要拡大に向けた取組や林業及び地域の活性化につながる新たな取組に対し支援していく。
- (3) 山林所有者の申出による個別対応は難しいと考えている。

その他の質問項目

○G I G Aスクールいといがわについて

田原 実
議員



問 スムーズで安心・安全な新型コロナウイルスワクチン接種、ウィズコロナ時代の地域医療体制確保について

質問

- (1) 当市の新型コロナウイルス感染症の現状について、特に市内感染者と感染経路の調査結果の公表、感染者の治療、入院、回復の状況報告及び感染拡大した場合の保健所対応や、自宅療養中の重症化など、市民の不安解消への市の取組について伺う。
- (2) 当市の新型コロナウイルスワクチン接種の状況について、8月までの接種率及び今後のワクチン接種の見込み、ワクチン供給量とスケジュール等について伺う。
- (3) デルタ株への変異と更なる変異による感染拡大への対応について、子どもたちへの感染拡大への対応について、妊婦及び家族へのワクチン接種対応について伺う。
- (4) ウィズコロナ時代の地域医療体制確保について、市内基幹病院である糸魚川総合病院と市外、県外の病院、富山大学との連携について、ウィズコロナ市民医療フォーラムの開催等について伺う。
- (5) ウィズコロナ時代の地元での医療人材確保策について、医師・看護師育成につながる医療教育の推進について、市長が進める看護師養成学校等の設立等について伺う。

市長答弁

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関する対応は県が中心となって行っているが、市民の不安解消につながるよう県と連携して取り組んでいる。
- (2) 現在、集団接種会場と各医療機関の個別接種でワクチン接種を進めている。8月31日現在、対象者の59.6%が2回目までの接種を完了しており、11月には希望者への接種を完了する予定である。
- (3) ワクチン接種をすることが感染予防に有効であることを更に周知していく。
- (4) 県、医師会、糸魚川総合病院、富山大学病院など関係機関と連携して対応している。地域医療フォーラムについては、地域医療の現状を周知する機会となっている。
- (5) 引き続き関係機関と連携し、医療人材確保に取り組んでいく。看護師養成学校の誘致、設立については、関係者と実現に向けて調査していく。

その他の質問項目

- 被災者住民、地区の要望が反映され、地域住民が主体的に活動し元気に生活できる、住んでいる人が主人公となる復興計画の推進について
- 人口減少問題への対策、糸魚川市の戦略と成果について



新保 峰孝
議員



問 談合問題と入札制度の改善について

質問

- (1) 糸魚川市の入札に対するこれまでの考え方や制度によって、平均落札率97.3%という高い落札率が続いていた。このことをどのように受け止めているか。明らかとなった官製談合の土台に業者間談合がなければ、このような高い落札率が続くことはないと思う。官製談合に対する有罪判決が下されたが、官製談合や業者間談合に対する市長の基本的考え方、認識を伺う。
- (2) 産業の振興という角度から談合問題を捉えると、安易な談合を繰り返していると競争力も技術力もない会社ばかりになってしまうのではないかと危惧する。談合が建設業に与える影響をどのように考えているか。
- (3) 現行の入札制度のもとで、工事箇所・地域と落札業者の関係はどのような傾向があるか把握しているか。不正があった場合の処分の期間と考え方はどうか。新潟県に準拠して変更したという最低制限価格91%を75～92%にした考え方はどのようなものか。
- (4) 8月27日に今回の官製談合事件の判決が出され有罪判決となったが、今回の事件から教訓としてどのようなことを学んだか。入札制度をどう改善したいと考えているか。

市長答弁

- (1) いずれも決して許されるものではないと考えている。
- (2) 競争力などの低下につながるものと考えている。
- (3) 工事箇所のある地域に所在する事業者が落札者となる傾向があると認識している。また、指名停止期間や最低制限価格の設定など、入札制度については、原則、県に準拠しており、県では最低制限価格を国や都道府県の低入札対策の見直し状況などを踏まえ変更したものである。
- (4) 適正な入札執行に努めてきたが、現実として今回のような事件が起きたことについて、重く受け止めている。
再発防止に向けては、官製談合再発防止対策検討委員会の提言を踏まえ、公正かつ透明性のある入札制度を目指して改善を図っていく。

その他の質問項目

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 産業振興について



渡辺 栄一
議員



問 当市職員における官製談合事件での判決、副市長辞任に至る責任及び職員全体に及ぼす職務のモラル意識の低下について

質問

- (1) 市長が庁内におけるコンプライアンスの責任者であることについて、改めてどのように考えているか。
- (2) 現状況下において、市長として庁内に求心力はあると思うか。
- (3) 前副市長が辞任に至ったことについて自身の責任はあると思うか。そもそも客観的に見て、適任者だったのか。
- (4) 入札問題や前副市長の発言など市政を心配する市民の声がある。市政に対する信頼回復にどう取り組むのか。

市長答弁

- (1) 職員に対する管理監督責任を重く受け止めている。
- (2) 市民の信頼回復に向けて、職員と一丸となって再発防止に取り組んでいく。
- (3) 在任期間中、前副市長からは、市政の発展に努めてもらった。
- (4) 官製談合再発防止対策検討委員会の提言などを踏まえ、取り組んでいく。

問 当市における観光エリアの設備・環境・保全状況について

質問

- (1) 現在の「月不見の池エリア」をどのように評価しているか。また、池の水位が下がってきていることや水質について、継続して調査する考えはあるか。
- (2) 月不見の池には大立岩と小立岩があり、現在、木が生い茂り、岩肌が見えない状態となっている。巨大な岩そのものが存在する、本来の迫力ある景観が損なわれていることから、伐採等の必要があると思われるが、市長はどのように考えているか。

市長答弁

- (1) 地滑りで運ばれた巨石と湧き水が生み出した景勝地である。また、「水位水質対策検討委員会」での検討結果を踏まえ、今年度も継続して水位・水質調査を行っている。
- (2) 地元関係者と現地を確認する中で、良好な景観の維持に努めていきたいと考えている。

その他の質問項目

- 大系線等の利用促進状況について



田原 洋子
議員



問 文化財・記念物の保護と活用について

質問

- (1) 文化財の保護・活用・研究のための学芸員は、何人いるか。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響で行事が中止となっている期間、伝統芸能の伝承はどのようにされているか。
- (3) 新型コロナウイルス感染症で観光客が減少している中、長者ヶ原考古館、糸魚川歴史民俗資料館、能生歴史民俗資料館、木地屋民俗資料館及び塩の道資料館の入館者数は、どのくらい影響を受けているか。

市長答弁

- (1) 文科系4人、自然系3人の計7人である。
- (2) 団体により対応は様々だが、伝統を絶やすことのないよう努力しておられる。
- (3) おおむね半減している。

問 有害鳥獣捕獲とジビエの流通について

質問

- (1) 新潟県猟友会糸魚川支部と西頸城支部の会員は、何人いるか。
- (2) 狩猟免許取得補助金、有害鳥獣捕獲の担い手緊急確保補助金、はこわなの申請数は、どのくらいあるか。
- (3) 捕獲数の推移はどうか。
- (4) 捕獲後の処理は、どのように行われているか。
- (5) 捕獲後の食肉を処理する施設は、糸魚川市内に何か所あるか。
- (6) ジビエの流通を増やす計画はあるか。

市長答弁

- (1) 糸魚川支部の会員数が52人、西頸城支部の会員数が32人である。
- (2) 令和2年度では狩猟免許取得が7件、担い手緊急確保が1件、わな購入が1件となっている。
- (3) いずれも5年前と比較すると、増加傾向となっている。
- (4) 持ち帰り又は埋設を行っている。
- (5) 能生地域に1か所ある。
- (6) 流通を増やすためには、消費拡大が必須であり、今後も料理講習会等を開催し、普及に努めていく。

その他の質問項目

○糸魚川市役所の職場環境改善について

阿部 裕和
議員



問 通学路の安全確保について

質問

6月28日に千葉県八街市で小学生の列に飲酒運転のトラックが突っ込み、児童5人が死傷する痛ましい事故があった。

この事故を受けて政府は9月末までをめどに通学路の総点検を実施し、既に都道府県の道路管理者や教育委員会に対して、対策が必要な箇所を抽出するよう要請している。

以下の項目について伺う。

- (1) 交通量が多い箇所や、速度の上がりやすい箇所、大型車の侵入が多い箇所など、通学路の危険箇所の把握ができていますか伺う。
- (2) 児童及び市民の安全を守るため、今までにどのような対策を講じてきたか伺う。

市長答弁

- (1) これまでも通学路の点検を行っているが、今回の事故を受けての視点を追加した点検を実施し、危険箇所を把握している。
- (2) 交通安全講習会や登下校の安全教育のほか、道路の安全施設の整備を順次行っている。



問 保健センターの利活用について

質問

地域保健法第18条の2で「保健センターは、住民に対し、健康相談、保健指導及び健康診査その他地域保健に関し必要な事業を行うことを目的とする施設」と定義されている。

地域住民の健康維持・増進に向けた、きめ細やかなサービスの提供に期待をしている。

糸魚川保健センター、青海保健センター及び能生保健センターの3施設があるが、それぞれの施設の現在の利活用状況と、今後の展望を伺う。

市長答弁

令和2年度の糸魚川保健センターで210日、青海保健センターで57日の利用があった。

能生保健センターは、耐震基準をクリアしていないことから、現在、使用していない。今後も施設を有効活用していきたいと考えている。



中村 実
議員



問 記録的な豪雨災害について

質問

8月11日からの記録的な大雨により、広島県内や九州などで土砂崩れや河川の氾濫が発生し、被害状況などが毎日のように報道されていた。今回の大雨は、3年前の西日本豪雨をはるかに超える雨量を記録し、激甚災害にも指定されるということで、早期復興が進むのではないかと期待をしているところである。

また、糸魚川市においてもお盆のさなか何日も大雨が続き、8月13日から19日まで大雨警戒本部の設置や自主避難所の開設もあった。何事もなく安心をしたところではあるが、来海沢地区の皆様にとっては眠れない日々が続いたことと思っている。今回の大雨警報の中、何人の方々が避難所に避難したのか。また、大雨警戒本部解散後に何か反省点はなかったのか伺う。

市長答弁

市内4か所に自主避難所を開設し、そのうち市民会館に2世帯2人が避難した。また、来海沢地区に「避難指示」を発令し、避難所として開設した西海地区公民館に8世帯10人の方が避難している。

幸いにも、今回の大雨による被害等の報告はなく、早めの避難情報を出したことは良かったと考えている。今後も市民が早めの避難行動を起こせるよう出前講座などで周知していく。

問 上越地域シートゥーサミット
実証実験について

質問

8月21日早朝にシートゥーサミット2022に向け、糸魚川市ではマリンドリーム能生から筒石港南公園までの間、約4.4kmをシーカヤックを使い、試走するという実証実験が行われた。

糸魚川市ではカヤックで海の魅力を満喫し、上越市では自転車、妙高市では登山を行い、自然について考えようという素晴らしいスポーツイベントだと思うが、今回の試走を振り返り、今後の取組について、どのように考えているのか伺う。

市長答弁

これまで、当市のイベントとして、シーカヤックの経験が少なかったことから、この度実証実験を行ったところであり、当日協力していただいた関係者の意見を踏まえ、来年度の開催に向けて準備していきたいと考えている。

その他の質問項目

○糸魚川市役所・能生・青海事務所の執務環境の見直しについて

横山 人美
議員



問 糸魚川市ささえあいプランにおける
医療的ケア児を含めた重症心身障害児の
支援の課題と明るい未来について

質問

障害があるお子さんとその家族が、住み慣れた糸魚川で安心して暮らし続けることができるように、以下の項目について伺う。

- (1) 昨年度までの第5期計画から挙げられる、在宅で暮らす重症心身障害児と家族への支援の課題について、どのように考えているか。
- (2) 今年度から始まった第6期計画において、(1)で挙げた課題の解消につなげるための具体的な施策があるか。
- (3) 重度の障害があるお子さんが、0歳から18歳までの子ども一貫教育を終えた後の居場所や社会参加について、具体的にどのように考えているか。
- (4) 障害があるお子さん、そして、障害がある18歳以上の若い人たちが、糸魚川市民として安心して過ごすために、地域資源の利活用を含めた施設の拡充と、異業種参入も視野に入れた地域資源やマンパワーの組合せ等、柔軟性に富む糸魚川市独自の福祉計画が展開されることを願うが、将来に向けての展望をどのように考えているか。

市長答弁

- (1) 市外に通院している方の経済的負担や市内福祉事業所での専門ケア設備と専門職の確保、相談支援体制の整備が課題である。
- (2) 市外へ通院している方への交通費助成の継続と保護者の方に分かりやすい相談支援を行うとともに、新たなサービスの提供について検討を行っていく。
- (3) 障害の状況に応じて、デイサービスや就労継続支援事業所等を利用していただいております。引き続き、保護者や関係者の皆様から意見を聴き、社会参加を進めていく。
- (4) 市民や地域の団体が、世代や分野を超えて地域全体が「丸ごと」つながる地域共生社会の実現に取り組んでいく。





東野 恭行
議員



問 駅北復興まちづくりと
立地適正化計画について

質問

- (1) キターレにおける駅北復興まちづくりの行政視察の受入体制と、今後の予定について伺う。
- (2) 駅北においても、地域の団体が主体となり、日々活躍されているが、今後の行政の支援策について伺う。
- (3) 「駅北まちづくり活動動画」の作成による効果と今後の活用について伺う。
- (4) 駅周辺のスーパーマーケットが撤退後、周辺の地域より行政に対し、スーパーマーケットの設置について要望があったが、その後の対応について伺う。
- (5) 駅周辺に、サテライトオフィスの設置がもたらす効果の予測と、今後の予定について伺う。
- (6) 糸魚川創成塾2021基礎講座が無事終了したが、塾生による現在までの駅周辺での創業の実績について伺う。
- (7) 若者の居住誘導について、現段階の具体的な施策について伺う。
- (8) 子育てに関する施設、保健センターなど、都市機能の駅北周辺への誘導は、計画として進んでいるのか伺う。

市長答弁

- (1) キターレ管理者及び市職員による対応のほか、自治会長や被災者からも説明に対応していただいている。今後も引き続き、視察の受入れを継続するとともに、大火の記憶を伝承するため、防災学習も推進していく。
- (2) 引き続き集落支援員を配置するとともに、まちづくり実践者と連携して、より活動しやすい環境を整えるよう支援していく。
- (3) 活動の様子を分かりやすく市民の皆様に伝えることを目的に作成したもので、現在ホームページ等で紹介している。今後も様々な機会を通じて広く紹介していく。
- (4) 近隣のスーパーマーケットや移動販売等をご利用いただきたいと考えている。
- (5) 駅利用者の利便性向上と中心市街地のにぎわいの創出につなげるため、現在、施設整備・運営事業者を公募している。
- (6) 平成30年度以降の3年間で9の方が駅周辺で創業している。
- (7) 駅北復興住宅への若者・子育て世代優先入居と、空き家改修事業補助金を加算する施策を進めている。
- (8) 現在、子育て支援を核とした施設の整備を、まちづくり団体、子育て世代などの多くの皆様と意見交換し、検討を進めている。

古畑 浩一
議員



問 度重なる不祥事と行政責任、
再発防止への取組について

質問

- (1) 官製談合防止法違反等事件の発生から裁判・判決までの経過と処分について伺う。
- (2) 総務課の裁判の傍聴記録によると、ほかにも官製談合・業者談合の可能性があると思われるが、どのように対処するか。
- (3) 平均的に高いとされる糸魚川市の落札率。新潟県、上越市及び妙高市など近隣自治体の平均落札率はどのくらいか。100%や99%などの落札率は他市でもあるか。

市長答弁

- (1) 当市職員が令和2年12月に入札を執行した「新駅公衆トイレ整備工事」に関し、業者に対し工事価格を教示し、工事価格に近い金額で落札させたことにより、令和3年5月19日に逮捕、6月8日に起訴され、8月27日に懲役1年6か月、執行猶予3年の判決が下りた。今回の判決を受け、当該職員を免職処分に、また、当時の上司2人に対し、減給及び戒告処分を行ったものである。
- (2) 再発防止に向けた取組のため、可能な範囲で事実関係を確認していきたいと考えている。
- (3) 県の平均落札率は、令和元年度の土木部発注工事で95.6%、上越市は令和2年度で94.2%、妙高市は令和2年度で96.5%と聞いている。100%、99%での落札は、他市においてもあることを確認している。

問 新型コロナウイルス感染症への対応と
経済対策について

質問

- (1) コロナ禍における深刻な状況となっている職種や経営状況、生活困窮者などをどのように把握しているか。
- (2) 県や国の警報継続と市や企業の自粛呼び掛けなど、営業の自由を侵害している。持続化給付金など、継続して行うべきであると考えがいかがか。

市長答弁

- (1) 直接市へ相談を頂くもののほか、支援機関や業界団体との打合せ、アンケート結果などにより、情報収集と共有に努めているところであり、飲食店や宿泊業を中心として厳しい状況が続いているものと捉えている。
- (2) 県からの協力金と市独自の給付金の支給に係る補正予算を追加議案として提案した。

議案の審議結果 第4回定例会（8月30日～9月22日）

番号等	件名	結果
59	令和2年度糸魚川市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
60	令和2年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
61	令和2年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について	認定
62	令和2年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
63	令和2年度糸魚川市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
64	令和2年度糸魚川市有線テレビ事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
65	令和2年度糸魚川市学校給食特別会計歳入歳出決算認定について	認定
66	令和2年度糸魚川市集合支払特別会計歳入歳出決算認定について	認定
67	令和2年度糸魚川市ガス事業会計決算認定及び利益の処分について	認定及び可決
68	令和2年度糸魚川市水道事業会計決算認定及び利益の処分について	認定及び可決
69	令和2年度糸魚川市簡易水道事業会計決算認定について	認定
70	令和2年度糸魚川市下水道事業会計決算認定及び利益の処分について	認定及び可決
71	糸魚川市基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決
72	損害賠償の額の決定及び和解について	可決
73	糸魚川市過疎地域持続的発展計画の策定について	可決
74	糸魚川市企業立地促進のための固定資産税の課税免除等に関する条例の制定について	可決
75	市営土地改良事業計画の概要について	可決
76	契約の締結について（旧ごみ処理施設解体工事）	可決
77	令和3年度糸魚川市一般会計補正予算（第4号）	可決
78	令和3年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）	可決
79	令和3年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
80	副市長の選任について	同意
81	教育長の任命について	同意
82	教育委員会委員の任命について	同意
83	糸魚川市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
84	令和3年度糸魚川市一般会計補正予算（第5号）	可決
85	監査委員の選任について	同意
陳情4	「私学助成の増額を求める意見書」に関する陳情	みなし採択
発議6	出産育児一時金の増額を求める意見書	可決
発議7	豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書	可決
発議8	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決
発議9	私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書（国宛）	可決
発議10	私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書（県宛）	可決

議員発議による意見書の提出

議員発議により提出された次の案件を本定例会で可決し、意見書を関係機関に提出しました。

[発議第6号] 出産育児一時金の増額を求める意見書
(提出者) 保坂 悟
(賛成者) 横山 人美、田原 洋子、伊藤 麗
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣

[発議第7号] 豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書
(提出者) 田原 実
(賛成者) 近藤 新二
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣

[発議第8号] コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
(提出者) 田中 立一
(賛成者) 加藤 康太郎
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣

[発議第9号] 私立高校の公費(私学助成)増額を求める意見書
(提出者) 東野 恭行
(賛成者) 横山 人美
(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

[発議第10号] 私立高校の公費(私学助成)増額を求める意見書
(提出者) 東野 恭行
(賛成者) 横山 人美
(提出先) 新潟県知事

人事案件

副市長の選任

前副市長が辞職したことに伴い、次の方の選任に同意しました。

井川 賢一さん(新任・須沢)
任期 令和3年8月30日から4年間

教育長の任命

前教育長が辞職したことに伴い、次の方の任命に同意しました。

轟本 修一さん(新任・田海)
令和3年8月30日から令和3年12月31日まで

教育委員会委員の任命

前教育委員会委員が辞職したことに伴い、次の方の任命に同意しました。

山本 修さん(新任・新鉄)
令和3年8月30日から令和6年5月19日まで

監査委員(議会選出)の選任

前監査委員(議会選出)が辞職したことに伴い、次の方の選任に同意しました。

宮島 宏 議員(新任・大野)
選任の日から議員の任期満了日まで

キャリアフェスティバルにブース出展

10月8日に「みつける。私の好きを」をテーマに、市内の中学3年生を対象とした「キャリアフェスティバルいといがわ2021」が開催され、市議会のブースを出展しました。

ブースを訪れた中学生に「どんな仕事をしているのか」「どうしてこの仕事を選んだのか」「仕事への思いや誇り」などを話し、市議会や議員の仕事について関心を持ってもらうことができました。



議会を傍聴
しませんか

12月 市議会定例会の会期及び日程（予定）

日	月	火	水	木	金	土
11/28	29 本会議 初日	30	12/1	2 議会運営 委員会	3 本会議 一般質問	4
5	6 本会議 一般質問	7	8	9 市民厚生 常任委員会	10 総務文教 常任委員会	11
12	13 建設産業 常任委員会	14	15 議会運営 委員会	16 本会議 最終日	17	18

- 本会議は6階議場、委員会は6階第二委員会室で午前10時から開始します。
- 本会議（議場）の傍聴席入口は7階です。市役所正面玄関に入って左側のエレベーターをご利用ください。
- 本会議、委員会いずれも各入口に受付簿がありますので、住所と氏名を記入して入場してください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクを着用し、他の傍聴者と間隔を空けてお座りください。

※12月定例会で議題とする請願・陳情は、11月19日（金）までに提出されたものになります。詳しくはお問合せください。

市議会をホームページでご覧いただけます。



市議会ホームページで、本会議の生中継映像、録画映像及び予算審査特別委員会の録画映像の配信を行っています。

市議会ホームページは、「糸魚川市議会」で検索いただくか、右の二次元バーコードをスマートフォン等で読み取るとご覧いただけます。



【二次元バーコード】